



○入学式式辞 「生み出す力」

(前段落)

本校は、昨年度創立40周年を迎えたばかりの県内でも歴史の浅い学校です。歴史と伝統を一人一人が創っている学校です。そのこともあって、新しい事に挑戦する気風があります。



このことに関連して、昨日の新学期始業式では、在校生に「前に踏み出す力」について話をしました。新入生のみなさんに向けては、「生み出す力」についてお話しします。

ちなみに、経済産業省が2006年に提唱した社会人基礎力では、「考え抜く力」、「チームで働く力」、そして「前に踏み出す力」の3つの能力が示されています。

さて、「生み出す力」とは、0を1にする力とも言えます。生成AIは質問に答えてくれますが、提案はしてくれません。0を1にすることもありません。そもそも人工知能AIには創造力はもちろん、読解力もありません。だから、人の気持ちを読んだり汲んだりすることもありません。考え抜くこともしません。

これからの時代は、なにが課題か、どうすれば課題が解決できるかを自分の頭で考え抜いて、なすべきことが見つかったら多様な仲間と協力し合って挑戦していくことが大切です。それが、松江東高校がみなさんにこれからの高校生活で求めていく姿勢でもあります。だから、求める生徒像は「自分の持つ可能性を拓げるために、様々な活動に挑戦する志を持つ生徒」としています。

では、どうすれば「生み出す力」がついていくのか。挑戦する、努力をする意欲ややる気はどうやったら湧いてくるのか。やる気スイッチは、見つけるものでも探すものでもありません。それは自ら生み出すものです。それには「心」がキーワードになると思っています。関心、好奇心、向上心、向学心…。生成AIに心はありません。だから自ら挑戦することも、生み出すこともありません。いろんな事に踏み出してみてください。どこかで琴線に触れること、魂が揺さぶられること、心が動くことに会うはずです。ボランティアやイベント、資格試験などチャンスはたくさんあります。松江東高校も様々なチャンスを用意します。チャンスをキャッチするかどうか、つかむかどうかは自分次第です。少なくとも自ら動かないと何も始まりません。チャレンジ、挑戦はそれからです。始業式では、3Cの話をしました。チャンス、キャッチ、チャレンジの3Cです。

松江東高校では、グランドデザインのメインテーマに「自立への道程」を掲げています。昨年度からこれに「小さな挑戦、小さな気遣い、大きな志」という言葉を添えました。

明日の自分に出会うのが楽しみになるような小さな挑戦を繰り返してください。挑戦に失敗はつきものですが、努力の過程や失敗から学ぶことで人は成長します。

自立への道程（みち）には、道程（どうてい）という漢字をあてはめています。これには努力や挑戦の過程を大事にして欲しいという気持ちが込められています。そのことが積み重なっていくこと、それがキャリアだと思っています。積み重なる中で志が芽生えてきたり、志が大きくなったりするものです。

小さな気遣いという言葉をつけたのは、人を思いやる気持ちを持って欲しいからです。思いやりの気持ちを持つことで、心にゆとりができ、自身の生活や取り組みが充実したものとなります。人を気遣っている人は、自然と自分をも気遣っている人です。だからやさしくなります。心が豊かになります。心が大切だと言いました。気遣いのできる心を持つ人は、関心、好奇心、向上心が旺盛になります。その逆もしかりです。自己中心的にならず、他者を気遣ってください。気遣いにあふれる学校は、「安心して失敗から学ぶことができる学校」とも言えます。誰かの役に立ちたい気持ちや人を大切にすることを人は確実に成長させます。

また、気遣いのできる人、そしてひたむきに努力をする人は応援されます。その応援が力になります。そんな気遣いの第一歩が挨拶です。挨拶ができる人や学校は応援されます。これは自分に返ってくる大事なふるまいです。

小さな挑戦を繰り返す中での達成感や悔しさが覚悟や次への意欲となることもしばしばです。その中で未見の我、成長していく自分との出会いが何回もあるはずで、人はそうやって成長していきます。3年後に、大きく成長した自分に会うために、今日から小さな挑戦、小さな気遣いを心がけてください。そして、松江東高校での3年間で、社会のどこかを支える、なくてはならない自立した大人へと成長して行ってください。

保護者のみなさまにお願いです。私たちは、コロナ禍で、活動の制限はもちろんのこと、大会や行事での入場制限や応援の制限も経験してきました。子どもの活動や活躍場面を見ること、応援できることの大切さを身にしみて感じました。見ることが子どもの成長の糧になることも再認識しました。小さな成長を見逃さずその場その時に認めたり褒めたりするのはとても大事です。これは教職員も同じです。しかし、保護者のみなさまに、高校生活のすべてを見ていただくことはできません。だからこそ、お子様の高校生活、とくに勉強や進学に関心を寄せ、それを言葉に出してご家庭で話してください。話しかけてください。学校からも様々なことを発信しますので、話題の材料にするべく目を通してやってください。昨日の始業式講話などを掲載した校長室だよりも不定期に発行し、ホームページにも掲載しています。保護者のみなさまもぜひご一読ください。どうぞよろしく申し上げます。

最後に、新入生が3年後に自立した大人として卒業していくよう、教職員一丸となって尽力することをここに誓い、式辞といたします。

